

平成 30 年 5 月 16 日

八尾市長 田中誠太 様

八尾市衛生問題対策審議会
会長 武田 温裕

答 申 書

八尾市衛生問題対策審議会において審議いたしました「八尾市健康まちづくり宣言（案）」について、別添のとおり取りまとめましたので、ここに答申いたします。

八尾市健康まちづくり宣言 (案)

八 尾 市

目 次

- 1 宣言策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 八尾市議会決議文・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3 八尾市健康まちづくり宣言（案）・・・・・・・・・・3
- 4 宣言文に込められた意味・・・・・・・・・・・・・・・・4

宣言策定の趣旨

八尾市では、平成 15 年 5 月より「健康日本 2 1 八尾計画」、平成 23 年 3 月より「健康日本 2 1 八尾第 2 期計画及び八尾市食育推進計画」を策定し、健康づくりを進めてきました。

平成 26 年 3 月には、八尾市議会において、「健康都市宣言」に関する決議^{※1}が行われました。ここにおいても、活気あふれる八尾のまちづくりにつながるものとして、健康づくりの重要性が謳われており、健康都市やおの実現に向け、市民・地域・行政・市議会が連携を図りながら取り組みを進める、とされています。そして、この主旨を踏まえたうえで策定を進めてまいりました。

平成 28 年 3 月には、“みんなの健康をみんなで守る 市民が主役の健康づくり”を基本理念とした「健康日本 2 1 八尾第 3 期計画及び八尾市食育推進第 2 期計画」（別添資料参照）を策定し、みんなで行動することによって、地域全体が健康になる社会をめざしています。

また、平成 30 年 4 月から中核市となり、保健所を設置することで公衆衛生に関する新たな権限を獲得し、柔軟かつ迅速に、感染症対策や食品衛生など市民の安全・安心をさらに高めるために取り組んでいきます。

今回の宣言策定にあたっては、市制 70 周年や中核市移行などの節目の年に、市政運営の基本方針である“健康づくりの推進”をさらに進めるため、健康文化^{※2}を醸成しながら、健康コミュニティ^{※3}の構築を市民とともにめざしているという本市の姿勢を、対外的に示したいと考えています。

そのため、八尾市衛生問題対策審議会の専門部会において、学識経験者や医療関係者、住民代表者などに策定委員になっていただき、ご意見をいただくとともに、地域での市民への説明や意見交換の場を設けながら、検討してきました。

今回の宣言（案）は、市民全員で健康づくりの大切さを共有し、子どもから高齢者まで全ての人々にとって親しみを感じることが出来る宣言になるようにとの願いを込めてつくられています。また、従前から地域とともに取り組んできた健康づくりをよりいっそう推進していくとともに、健康づくりとまちづくりをともに進める健康コミュニティの大切さを伝えるという意味を込めて、宣言名称を「八尾市健康まちづくり宣言」としました。

※1) 「健康都市宣言」に関する決議：2 ページに掲載しています。

※2) 健康文化：個人や地域において、健康に対する意識や取組が日常的な生活文化として定着している状態を言います。

※3) 健康コミュニティ：「みんなの健康をみんなで守ることをめざす集団」と定義しており、健康づくりに関する活動が地域で主体的かつ継続的に取り組まれていて、市民と行政がそれぞれの取り組みで相乗効果を発揮し、“市民との協働”と“市民主体”が循環することをめざすものです。

「健康都市宣言」に関する決議

子どもから高齢者まで、すべての世代が健康で生活することは市民の願いである。

健康を維持することで、市民一人ひとりがいきいきと輝いて暮らすことができ、ひいては活気あふれる八尾のまちづくりにつながるものである。そのためには、日常生活における健康づくりの取り組みが重要である。

八尾市議会は、市民一人ひとりの健康な生活の実現を願い、ここに「健康都市宣言」を行い、健康づくりの諸施策を充実し、健康都市やおの実現に向け、市民・地域・行政・市議会が連携を図りながら取り組みを進める。

以上、決議する。

平成 26 年 3 月 25 日

大阪府八尾市議会

八尾市健康まちづくり宣言

わたしたちは、自然と歴史が調和したこのまちで、誰もが自分らしくいきいきと暮らすことを願っています。

この願いを実現するため、わたしたちが大切にしている地域のつながりを未来に向かってさらに広げ、みんなの健康をみんなで守る“健康コミュニティ”を育てていくことをめざし、ここに八尾市の健康まちづくりを進めることを宣言します。

わたしたち八尾市民は、

- － みんなの健康のため、みんなで力を合わせましょう
- － 健康でつながる、笑顔あふれるまちをつくりましょう
- － 日頃からいきいきと、こころやからだを動かしましょう
- － 歯を大切に、感謝して楽しくかしこく食べましょう
- － 健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みましょう

宣言文に込められた意味

<前文について>

1 ● 自然と歴史が調和したこのまち

- ・八尾市は、信貴・生駒の山々を仰ぎ、桜並木の玉串川や大和川が流れる、自然に囲まれたまちです。また、久宝寺の寺内町、旧植田家住宅、しおんじやま古墳、由義寺などの史跡が数多く点在している、歴史あるまちでもあります。この自然と歴史が調和していることで、健康で心豊かに暮らすことができる環境であることを表現しています。

2 ● 誰もが自分らしくいきいきと暮らす

- ・子どもから高齢者まで、一人ひとりが自分に合った方法で、自分らしくいきいきと生活していくことの大切さを表現しています。

3 ● わたしたちが大切にしている地域のつながりを未来に向かってさらに広げ

- ・八尾市はこれまで、保健師を地域拠点のコミュニティセンターに配置し、健康づくりの取り組みを進めてきており、地域のつながりを大切にしてきました。今後はこれから生まれてくる未来の子どもたちや新たに市民となる方にもつながりの輪を広げて、この取り組みがさらに進展することを願っての表現としています。

4 ● みんなの健康をみんなで守る“健康コミュニティ”を育んでいく

- ・「健康コミュニティ」とは、“みんなの健康をみんなで守ることをめざす集団”のことであり、健康づくりに関する活動が地域で取り組まれ、みんなが健康でいられることをめざすという願いを込めて表現しています。

<条文について>

● 条文1：みんなの健康のため、みんなで力を合わせましょう

- ・「健康日本21八尾第3期計画及び八尾市食育推進第2期計画」の基本理念である「みんなの健康をみんなで守る 市民が主役の健康づくり」の要素を取り入れ、健康づくりは市民が主役であると同時に、地域全体でサポートする体制づくりを進めることで、より健康になれるということを表現しています。
- ・人と人とのつながり、次世代の育成、世代間交流の大切さ、献血推進の活動やボランティア活動などの様々な支え合い、助け合い活動についても意識できるように“みんなで力を合わせましょう”と表現しています。

● 条文2：健康でつながる、笑顔あふれるまちをつくりましょう

- ・地域のコミュニティセンター等で行う健康づくりの取り組みを通じて、市民、地域、医療機関、市議会、行政等が連携して、市民の健康づくりを支援し、地域のつながりを築いていきたいという願いを込めて、“健康でつながる”と表現しています。
- ・「明るく」「楽しく」「元気よく」そして「いきいきとしている」、そんなまちをつくることをイメージすると同時に、笑うことは、免疫力アップやストレスを軽減させるなどの健康に役立つ効果があるため、笑うことの大切さを感じることができるよう“笑顔あふれるまち”と表現しています。

●条文3：日頃からいきいきと、こころやからだを動かしましょう

- まず、日常から、気軽に、適度にこころやからだを動かす習慣を身に付けてほしいという願いを込めて、“日頃から”という言葉で表現しています。
- 障がいのある方、病気治療・療養中の方など、様々な事情や身体の状態の方に配慮し、活動的なイメージより、生命力を感じさせるイメージを優先して、“いきいきと”と表現しています。また、“こころやからだを動かす”と続け、こころとからだのどちらか一つでも動かしてほしいという願いを込めて表現しています。
- 健康づくりの取り組みへの参加率の低い世代が共感できるように、運動やスポーツだけでなく、日常生活の掃除・洗濯、通勤・仕事、文化的な趣味や遊びの中でもからだを動かし、こころを豊かにすることができることを意識しています。また、地域活動や社会参加を進める中で、こころやからだを動かすことにより、生きがいづくりや介護予防にもつながり、充実した生活が送れるということも含めての表現としています。

●条文4：歯を大切に、感謝して楽しくかしこく食べましょう

- まず、重要性が見直されている「口腔」の健康について、その大切さを再認識していただくために、“歯を大切に”としています。また、口腔は、栄養の摂取を助けるための器官ということだけでなく、会話や食事を楽しむなど生活の質にとっても大切なものであることを表現しています。
- 食事の原点である「食べ物となる生き物への感謝」「その食べ物にたずさわった人々への感謝」「食事できることへの感謝」など、感謝の気持ちの重要性を意識できるよう、“感謝して”と表現しています。
- 「食」という字は、人を良くすると書き、食事は、すべての人にとって、こころの栄養にもなると考えられています。誰かと食べる楽しみや食事を楽しんで味わうことを心掛ける気持ちを大切にしたいものです。特に、子どもたちには、からだだけでなく、こころの成長にも影響を与えていると言われるため、家族や友人とみんなで、楽しく、おいしく食事する環境を地域ぐるみでつくっていくことを意識できるように、“楽しく”と表現しています。
- 「行儀よく食べる」「三食きちんと食べる」「栄養バランスを考えて食べる」「地産地消を意識する」「食育に関心を持つ」など、いろいろ考えて食べることをまとめて、“かしこく”と表現としています。大人も子どもも食育に関心を持ち、地産地消を意識して、栄養バランスを考え、三食きちんと食べることの大切さを伝えたいと考えています。

●条文5：健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みましょう

- 自らの健康とともに、家族や周りの人の健康にも関心を持っていただきたいということを表現しています。まずは、健康づくりのために自分に何ができるのか、一人ひとりが自分の健康について考え、可能な場合は具体的な目標を決めて健康づくりに取り組んでほしいという願いを込めて表現しています。さらに、自分だけではなく、みんなと一緒に目標を決めて取り組むということも願っての表現としています。
- 現代社会では、健康や医療に関する情報があふれていますが、健康に関する情報を入手した場合に、その内容が正しいものであるかどうかを判断し、適切に理解したうえでその情報を活用することが重要です（この考え方を「健康リテラシー」といいます）。健康に関心を持つことで、健康リテラシーの向上にもつながることをめざすということを意識しての表現となっています。
- 症状や病気がないときでも、定期的に「健（検）診」（健診/がん検診）を受診して、健康に気を配ることの大切さを意識し、介護予防にもなるように、日頃から健康づくりに取り組んでほしいという願いを込めて表現しています。